

東京キリスト教学園 ボランティアセンター活動報告vol.8



2013/11/14

発行: ボランティアセンター

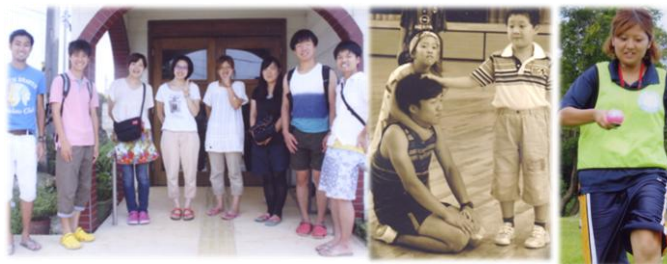
■いつもお祈り感謝いたします。
ボランティアセンターは今年度「忘れない」をテーマのもと活動しています。

震災から2年半経過・・・これからも被災者の気持ちに寄りそうボランティアセンターとして活動できるように。そして何より被災された方々の為にお祈り下さい。

■東仙台教会主催キャンプ



今までと同様に今回も津波で壊滅的な被害を受けた宮城県の野蒜地区にある野蒜小学校の子供たちを対象として2013年8月19日～21日に山形月山ポレポレファームで行われました。26人の子供と保護者とスタッフ合わせて73人のキャンプにTCUから5人の学生が参加しました。スポーツを体育館でし、夜には小さな集會を持ち賛美を歌います。最後の夜にはTCUチームが「大切な君」のスキットをし、子どもたちは釘づけでした。賛美と食前の祈りとTCUの出し物以外はキリスト教的要素は出さずに子どものケアに専念したキャンプですが、参加者の男の子からは、「イエス様はいるんだよね」と確信を持って話してくれる子がいました。教会に行っていなかった子どもたちはこのキャンプを通して確実にイエス様の事を聞き、種が蒔かれていると実感しました。



今回も先生方から手紙が届いたので一部紹介します。

私たちがスラブと子どもたちとは約2年のつばかりに
なりますが、今回初めて出会う在災校の学生6名が
子どもたちにながが水でいたことが、皆さんの関わりを
証明していると思えました。

震災から2年半経た今もなお、継続的に学生を送
送して下さることに改めて感謝致します。

■宮古コミュニティーチャーチ

私たちは、今回夏期伝道のボランティア枠として、3.11
いわて教会ネットワークと、コミュニティーチャーチの牧師
先生の指導のもと、10日間活動させていただきました。
活動の内容は、仮設での教会カフェを開き、讚美歌や
歌謡曲を歌うプログラム、個別訪問、学童での子どもプ
ログラムなどでした。結果として、仮設9つと学童2つを
訪問することになりましたが、どこに行っても、多くの方達
が私たちを喜んでくださり、歓迎してくださいました。しかし、
明るく向かえてくださった方々の中にも、まだまだ震災
が残した傷があることを垣間見る時となりました。
手を握りながら亡くなったご主人
人の話を下さった方、大人
より自分の感情を上手に表に
出せない子どもは今一番ケア
が必要とされていると語る方
の聲がまだ心に響いています。



■ボランティアセンターリーダーズ募集

現在、ボランティアセンターでは次期のリーダーズを必要と
しています。重荷のある方がいましたら、ぜひ、現リーダーズ
(豊島集司、伊能悠貴、鈴木美津子、西岡牧葉)まで声をお
掛けください。詳細は直接お伝え致します。

■学内活動

10/1(火)報告会、シオン祭での展示
毎週火曜夕食時:情報交換と祈る時を持っています。是非、
一緒に祈りましょう。

■募金報告

9月の4週目と10月の2週目とに行った募金活動の協力あり
がとうございました。11月15日現在の合計金額は352822円
です。この資金は学生がボランティアに行く際にサポートとし
て使われます。

■今後の活動

・秋の11月23日(土)～28日(水)の期間、ボランティアとして
宮古コミュニティーチャーチに7人を派遣することが決まりました。

★募集★東仙台の子ども冬キャンプ

12月25日(水)～28日(土)
詳しくは、豊島集司(080-4797-1195)まで。